

第7章 検査

検査は、給水装置工事がこの基準に適合し、給水装置工事申請書及び給水装置工事設計書（以下「申請書」という。）どおり施行され、常時良好な給水状況を確認するために行うものである。

給水装置工事主任技術者は、その職務及び責任を十分認識し、申請書との照合、構造材質基準との適合等各項目の内容を、工事完工後直ちに確認し、不備があれば手直しを行った後、給水装置工事竣工届（別紙様式、p.7-3）および給水装置工事竣工報告書（別紙様式、p.7-4）を速やかに提出すること。また、水道課が指示した箇所について工事写真を撮影し、竣工報告書に添付すること。

1. 検査項目

(1) 申請書との整合

ア. 給水装置図面、位置図、材料表内容等との整合。

（申請書の内容に止むを得ず変更を生じる場合は、工事着手前に協議を行ったうえで申請書の訂正を行うこと。）

イ. メーター・分岐・仕切弁の位置及び道路断面図の記入。

(2) メーターの設置

ア. メーターは、逆付け、片寄りがなく、水平に取り付けられていること。

イ. 検針、取替えに支障がないこと。

(3) 止水栓(仕切弁)の設置

ア. 止水栓（仕切弁）の操作に支障がないこと。

イ. 止水栓（仕切弁）は、逆付け及び傾きがないこと。

ウ. ボックス類は、傾きがなく、スピンドルの位置が中心になるよう設置すること。

(4) 管の埋設深さ

所定の深さが確保されていること。

(5) 配管及び接合

ア. 配管の口径、延長、経路、給水用具等の位置が図面と整合すること。

イ. 破壊、浸食、凍結、水の汚染等を防止するための適切な措置がなされていること。

ウ. 逆流防止のための給水用具の設置、適切な吐水口空間の確保がなされていること。

エ. クロスコネクションがないこと。

オ. 適切な接合が行われていること。

カ. 性能基準適合品の使用を確認すること。

(6) 給水用具

ア. 適切な接合が行われていること。

イ. 性能基準適合品の使用を確認すること。

(7) 路面復旧の確認

ア. 道路管理者の指示どおり施工されていること。

イ. 路面の凹凸、標示等の確認をすること。

(8) 受水槽

ア. 吐水口と越流面等との位置関係を確認すること。

イ. 警報装置の作動確認をすること。

ウ. 故障等非常時の連絡先が明示されていること。

エ. 受水槽が基準どおり設置されていること。

(9) 通水確認

通水した後、各給水用具からそれぞれ放流し、水道メーター経由の確認及び給水用具の吐水量、作動状態等について確認すること。

(10) 耐圧試験

テストポンプにより、1.75MPa の静水圧を1分間加えたとき、漏水、抜け出し、その他の異常が生じないこと。

(11) 水質確認

水質確認報告書 (p.7-5) を使用し、給水装置の末端 (受水槽式においては、給水設備の末端) で遊離残留塩素の測定を行い、含有量が 0.1mg/l 以上であることを確認し、にごり、味、臭い、異物の混入等がないことを確認すること。

また、市から指示があった場合は、速やかに水質確認報告書を提出すること。

2. 完工検査

(1) 給水装置竣工報告書により、管理者が行う検査を受けなければならない。

(2) 検査の結果、不良箇所があった場合は、速やかに手直しを行い、再検査を受けなければならない。

(3) 管理者が行う検査は、原則として主任技術者が立会うこと。

3. その他

主任技術者は、施工した給水装置工事ごとに次に掲げる事項に関する記録を作成し、作成の日から3年間保存すること。

(1) 施主の氏名又は名称

(2) 施工の場所

(3) 施工完了年月日

(4) 主任技術者の氏名

(5) 竣工図

(6) 給水装置工事に使用した給水管及び給水用具に関する事項

(7) 構造及び材質が基準省令に定める基準に適合していることの確認の方法及びその結果

(8) 水質確認報告書

給水装置工事竣工届

1. 工事場所 玉野市
2. 種別 専用・共用
3. 用途

家事用・営業用・官公署・学校用・湯屋用
船舶用・工業用・臨時用・大口用
4. 給水栓番号
5. 竣工年月日 平成 年 月 日

上記の給水装置工事は竣工しましたからお届けします。

玉野市水道事業管理者

玉野市長 黒田 晋 殿

申請者	住所	
	氏名	印
玉野市指定給水装置工事事業者	住所	
	氏名	印

給水装置工事竣工報告書

受付年月日	平成 年 月 日	受付番号	
工事場所	玉野市	給水栓番号	
申請者氏名		工事種別	新設・改造・移転・接続・撤去・臨時

給水装置の構造及び材質等を下記のとおり確認したので報告します。

平成 年 月 日

指定給水装置工事事業者 印

給水装置工事主任技術者 氏 名 印

交付番号

検 査 項 目	確 認 欄	検 査 欄
1 申請書との整合		
給水装置図面, 位置図, 材料表内容等との整合		
メーター・分岐・仕切弁の位置及び道路断面図の記入		
2 メーターの設置		
メーターの逆付け, 片寄りがなく, 水平に取り付けられている		
検針, 取替に支障がない		
3 止水栓(仕切弁)の設置		
止水栓の操作に支障がない		
止水栓の逆付け, 傾きがなく, ボックスの中心にスピンドルがある		
4 管の埋設深さ		
所定の深さを確保している		
5 配管及び接合		
延長, 給水用具等の位置が図面と整合し, 経路等が適切である		
破壊, 浸食, 凍結, 水の汚染, 逆流防止等の適切な処置をしている		
クロスコネクション(誤接合)がない		
性能基準適合品を使用している		
6 給水用具		
性能基準適合品を使用し, 適切な接合が行われている		
7 路面復旧の確認		
道路管理者の指示どおり施工され, 路面に凹凸がない		
8 受水槽		
吐出口と越流面等との空間が確保されている		
警報装置が正常で, 非常時の連絡先が明示されている		
受水槽を基準どおり設置している		
9 その他		
その他の異常がない		
10 耐圧試験	実施年月日	平成 年 月 日
11 水質確認	実施年月日	平成 年 月 日

指示項目または処置

検 査 結 果	合 格	不 合 格
---------	-----	-------

検査年月日

平成 年 月 日

検 査 員

印

水 質 確 認 報 告 書

受付年月日	平成 年 月 日	給水栓番号
受付番号		工事種別
給水場所	玉野市	
申請者氏名		

水 質 検 査

検 査 年 月 日	平成 年 月 日		
給 水 方 式	直結式	受水槽式	直結・受水槽併用式
検 査 箇 所	ドレンφ mm ・ 給水栓 ・ その他 ()		
1. 遊離残留塩素	mg/l		
2. に ご り	異常	ア. あり	イ. なし
3. 味	異常	ア. あり	イ. なし
4. 臭 い	異常	ア. あり	イ. なし
5. 異物混入	異常	ア. あり	イ. なし
6. その他			
7. 水質検査成績表	添付	ア. あり	イ. なし

上記のとおり水質の確認を行った結果、異常ありません。

平成 年 月 日

指定給水装置工事事業者

印

給水装置工事主任技術者

氏 名
交付番号

印